

もりのクマ通信

2025. 2. 14
七谷保育園
Tel52-2751

地域の皆さんに、子どもたちや園の様子をもっともっと知ってほしいと願って発信しています。

早いもので2025年も2月中旬。暦の上では、春ですが、子ども達の雪あそびはまだまだこれから！なかなかまとまった降雪がなく、今シーズンは小雪なのかな？雪遊びがきないのでは！？などと心配しましたが、1月にズン！2月になってズン！ズン！！と積もりました。園庭にも大きな雪山ができ、これで今シーズンはめいっぱい雪あそびを楽しめそうです。

大人にとっては除雪や車の運転などのことを考えれば降雪、積雪が少ない方がありがたいですが…。子ども達には、冬は冬らしく、季節を感じ、その季節ならではの遊びを楽しんで欲しいと思います。

そんな今シーズン、子ども達は園庭の雪山で遊んだり、冬鳥越スキーガーデンへ行ったりそり遊びをしたりして楽しく過ごしています。

節分豆まき

保育園に鬼達がやってきました。朝は調理室に緑鬼が！「きゃー、おにー！」と言いながら、何度も調理室をのぞきに行く子ども達。その日は、緑鬼が作ってくれた給食でした。

その後は、自分が作った鬼のお面をつけて、節分お楽しみ会。自分にはどんなところがあるか発表したり、歌ったり、踊ったり楽しみました。

ドン！ドン！ドン！太鼓の音とともに、らいおん(年長児)鬼が登場。新聞紙豆で、「おにはそと！」「やられたー」と倒れたり、「おにだぞー」と向かっていったり、演技的な鬼たちでした。続いては黄鬼が登場。年長児も加わって、「おにはそと！」子ども達が元気に投げる豆の勢いで「参った、参った。赤鬼助けて～」と退散。最後はちょっと太めな赤鬼が登場！「こわいー」と泣く子もいましたが、勇敢に大豆や落花生で「おにはそと！！」子ども達がなげる豆で、鬼は退散。無事節分豆まきは終わりました。



正体バレバレの鬼達でしたが、怖がらせることが目的ではないので、それでいいんです。

鬼は怖いもののたとえに使われますが、節分の鬼は人間の心にある煩惱の象徴とされ、昔の人は人知を超えた災害や自然現象を鬼のせいと考えていて、鬼の存在が現代よりも身近だったことから、煩惱も鬼に例えていたようです。

避難訓練

1/28 地震を想定した避難訓練を行いました。ダンゴムシのポーズ(命を守るポーズ)を訓練し、地震について、命の大切さについての話を聞きました。そして、今回は園で備蓄している非常食の試食をしました。おにぎり、ピラフ、パン、ビスケット等。「いいにおい」「おいしい」と言って食べていましたが、実際にこの非常食を使うことがないといいなと願います。



“雪”は子ども達にとっては“冬”という季節を感じる大切な宝物です。被害が出るほどの降りすぎは困りますが、雪あそびができるくらいは降ってほしいものです。

❄️ 雪あそび ❄️



2/10 今シーズン初冬鳥越
に行ってきました！

以上児は広いゲレンデで
楽しんでました。